

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	24	入居歴が長くなると、その人らしい暮らしが固定化してしまっていないか。	馴染の暮らし方、生活環境に合わせたサービスが提供できているか把握し、さらなるQOLの向上に努める。	家族の方に再度お尋ねしたり、本人のちょっとした発言からニーズを見出す。毎月来所いただいている市の介護相談員、職員が情報を共有し、個人に合ったよりよいサービスを提供する。	3ヶ月
2	43	排泄の支援が自立支援に繋がっているか、おせっかいになっていないか。	非常にデリケートな問題であるため、本人の意向が掴めるように、普段から信頼関係に努める。	男性職員、女性職員からの気づきなど職員同士で排泄介助での情報交換を心掛け、利用者の人格を尊重した声掛けや対応を日々行う。	随時
3	49	今日どこかに出かけたいと申し出があっても困難な状況である。	生活にメリハリがもてるように、希望に近い支援をできるようにする。	日頃の体調、天候の事なども考慮し、家族と事前に取り決めをし、前向きな返答ができるようにする。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。